

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市社会教育委員会議小委員会(第2回)		
事務局 (担当課)		生涯学習課 電話042-769-8286(直通)		
開催日時		令和5年8月24日(木) 午前10時00分~正午		
開催場所		相模原市役所第2別館3階 第三委員会室		
出席者	委員	5人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	6人(生涯学習課長、外5人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可	不可	一部不可
		傍聴者数	0人	
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		(1) あいさつ (2) 調査研究報告書のまとめ方案及び構成案について (3) その他		

## 議 事 の 要 旨

( 1 ) あいさつ

秦野委員長あいさつ

秦野委員長の進行により議事が進められた。

( 2 ) 調査研究報告書のまとめ方案及び構成案について

事務局から資料に基づき説明。

( 秦野委員長 )

研究調査報告書の構成案について細かいところはともかく、大きなまとめ方はこれでよいでしょうか。

( 全員 )

反対意見なし。

( 秦野委員長 )

大きなまとめ方としてはこの構成で良いということで、次回の定例会はこの形で提出します。

この構成案については、古矢議長と事務局で何回か打ち合わせを行い、何かあった方が意見を出しやすいということで、たたき台として用意した。タイトルと中身がセットになっているが、全部変える、違うタイトルが良い、など多くの意見をいただきたい。これで決定ではなく、思ったことを発言するところから始め、そこから協議できることを拾いたい。

( 雨宮委員 )

かなりの情報量だと感じた。今回この報告書を作る中で、あまり堅苦しくなく、中学生にもわかりやすくという意見が出ているが、中学生がこれを読むにはかなりの労力が必要だと感じた。公民館に興味、関心がないとコミットするのが難しいと思う。これをさらに噛み砕いていくと、今度は我々が本当に伝えたいことが薄まってしまうようで、そこをどのようにまとめていこうかと感じた。

( 秦野委員長 )

概要版ではいかがでしょうか。

( 雨宮委員 )

概要版についてはこれまで検討してきたことの延長線上にあるものだと思うが、もう少しこのページが埋まっていくとまた見えてくるものがあると思う。

( 水谷委員 )

「もっと」という概念はいつでてきたのか。

( 秦野委員長 )

これまでの定例会や、小委員会、グループ討議の中で、「もう少し使いやすいといいのにね」とか、「もうちょっとこういうのやってくれたらいいのにね」など、

そのようなことを表現するために「もっと」と提案したもので、「もっと」が強いと感じるのであれば「もうちょっと」など他の案もあると思う。

(水谷委員)

良い悪いという話ではなく、これがキャッチコピーになるので、これで中身を見るか見ないか興味を引く、こういうところが大事で非常に面白いと思う。今までの公民館の枠を広げていくということは、若者、子どもに対して枠を広げていくのか、軸足というか質が非常に大事だというのが第一印象。もっと輝くためにという項目があるので、本当に大事だという印象を持った。概要版は面白い、興味がある。

(大久保委員)

私は、どんな形でこの報告書が出てくるのか楽しみにしている。公民館としても課題を多く抱えている。それをどうしようかというのが悩みで、課題というのは利用者の高齢化が進んでいること。もう1つは若者の公民館の利用、特に20代から40代の利用が少ない事。子どもたちの利用は事業を通じて地域の子どものサークルを活用したり、小学校と連携をとることはできるが、そこで途切れてしまう。そのあと子どもが成長するにつれて来なくなってしまう。その辺りをどうすれば良いのか悩んでいる。職員にも考えてみようよと言ったことはあるが非常に難しい。大学生がたまに来てくれるけれどそれも続かない。これから公民館というものを展開し継続するということは大きな課題で、利用者の何か糧になるようなものでもない結局続かないと思う。そういうところで、どのように事業展開していけば良いのか非常に悩んでいる。だから、この報告書がどういう形で出てくるのか、非常に楽しみにしている。ただ、地域性がとても強く、市内の大学高校が近い公民館は大学生、高校生の利用があるが、近くに無い地域はそうではない。住んでいる方々や歴史的なところも含めて地域性があり、それは公民館によって違うので、共通で何かを一緒にやろうとしても難しい。

(秦野委員長)

これまでの定例会、小委員会でも、これだけ地域館が独立して活動しているので、横並びは無理ではないかという意見は多い。

(大久保委員)

まず無理でしょう。一定の共通的な事は決められるにしても、個々の事業展開については昔からの歴史、流れもある。住んでいる人も地域で違うので、各公民館でそれぞれ考えないと事業を展開できない。

(秦野委員長)

普遍的にやるべきことと、全館でやるべきこと、地域の形態であるとか、立地条件であるとか、そのようなことを生かして良いのではないかという意見はたくさん出ていた。それをどのように提案したら良いか、これまでの話し合いで悩んできたところで、提言としては南区の中でも「若者は拠点館としてここが中心になって頑

張ってもらいたい」「こっちは高齢の方が多いので、その方たちがうまく使えるようにする」そのような提案もこれまでの意見にあり、それを上手くこの報告書の中に入れられると良いというのが共通の考え方だった。現場の方からそのようなご意見があったので、少し厚みを持たせるところかもしれない。

(奈良田委員)

報告書を作成して、見てもらえないことには「せっかく作ったのに」という思いは自分も経験がある。手に取って活用できるというのは大事な部分だと思っている。そこはぜひ基本、作成の柱として考えて良いと思う。アンケート、ヒアリング、課題があった部分に対してどうしたらコミットできるか、そういう流れが書かれていると思う、その流れがすごく良いと思った。例えばアンケートやヒアリングの結果を抜粋して載せるという方法があって、そこから攻めていけると思った。吹き出しは見た目パッと解るので良いと思う。色々な事例を載せるという事は、とても参考になると思うので、全国の色々な事例が載せられると良い。市内の公民館の特色ある事業はもっと載せても良いと思った。何故かと言うと、小学校中学校の教員向けに教育研究発表大会というのがあって。その中で東林コンサートの発表があった。内容は公民館の事業に小学生、中学生の音楽の活動を取り入れて、地域で発表するというもので、地域と学校が繋がる、公民館が橋渡しをしてくれている。そういう事業があることを初めて知った。学校としては色々な事業がある中で、子どもたちがどのように参加できるかという部分が知りたいので、市内の特色ある取り組みは是非掲載してほしいと思った。

(秦野委員長)

これまでも意見があって、拾い切れていないものがたくさんあると思う。各館頑張っって本当に面白いことをやっているのに教育振興計画の進捗状況の資料にもあがってこない、とてももったいない。公民館の方と直接話しをすると「こんなことやったんだよ」と伺って「何でそういうの報告にあげてくれないの、もったいない」ということが結構あって、それをどのようにして引き出すのかが悩みの種かと思う。奈良田委員が言ったように、よい事例がたくさんあると思う。

(大久保委員)

うちの公民館は、小学校に隣接しているので、小学校の校長先生たちと色々話をしているが、小学校の音楽会を話しかけてもらって体育館で開催している。地域の人たちもみんな来てくれる。もちろん父兄も来てくれるので、コロナ前は体育館に入りきらないくらい来てくれた。学校も積極的に生徒たちを、地域の活動を見せたいという思いは強い。何かの機会でも中学校とも連携を取って開催した。そういった事例は各公民館それぞれあると思う。例えば小学校中学校じゃなくても地域の団体とか、そういうのを事例として載せると参考になる。事例を見れば職員同士繋がっているから「これはどうやったの」と聞けると思う。

( 秦野委員長 )

コロナが5類に移行したところで最新の事例を集めたい。事例集を別冊にするという案があり、以前収集した事例に最新の事例を併せる。それと事例集に載せる事例、本文に載せる事例の取舍選択が必要。

概ねこれで良いとご了承いただけたら、具体的に、委員の皆さんに分担していただいて、「事例を集める」「本文書く」そのように分担して進め、それを全体で編集していく。そうすると先ほどの「ページが埋まってくると見えてくるものがある」という意見のように、話がしやすくなると思う。所々にヒアリングの結果とか、アンケートの結果を入れているが、それをもう少し増やす、事例はもう少し充実させ、本文は委員の皆さんに書き足していただくということで進めてよいでしょうか。進めていくうちにタイトルを変えよう、本文はもっとふさわしいのがあるかもしれないので、そのときには修正していくということで、一応このスタイルで進めます。

( 全委員 )

反対意見なし。

( 秦野委員長 )

ヒアリング調査から拾ったり、ウェブアンケートから吹き出しに入るところは、自由記述から拾っていますが、皆さんには「こんなの入れると良いね」とか「この意見すごく面白いから取り上げたい」または、「職員のこの意見を入れると良いね」というのを拾い出す、載せる事例を増やす、そのような役割を社会教育委員全員で分担したい。分担表の案を用意したので、本日出席されている委員には何かしらお任せしたいが、その確認作業に入ってもよいでしょうか。

( 全委員 )

反対意見なし。

( 秦野委員長 )

そもそも分担表はこれで良いのかという点についても意見をいただきたい。公民館マップについては、区ごとに公民館の位置が分かるようにし、「この公民館にはこんな特徴がある」「こんないいところがある」ということを載せたいという意見があった。資料では大雑把なイメージを示しただけで、委員の誰かが担当になって作らないといけないと思っている。

コラムは奈良田委員と雨宮委員には是非お願いしたいが、他の委員にも書けるところがあればお願いしたい。

アンケートから自由意見を拾う作業、ヒアリングについてはせっかく公民館の方たちにご協力をいただいたので、そのご意見を拾い、集計した数字を出したいのでその作業の中心になる方。

関心のあるところの文章を書く「若者子どもがもっと使いやすくなるように」とか「活躍する」など、社会教育委員には関心がある項目について書いてもらいたい。

事例抽出は新たに集める事例と、今まで集めた事例の中からも本文に入ると良い事例、全国的に見て面白い事例があればそれを載せるといった作業を中心になってやっていく役割をお願いしたい。

イラストは本文に合わせたイラストを描く方、または描ける人を仲介する方。

最終的な整理編集とまとめの執筆、監修は私と議長でやらせて頂こうと思っているが、一緒にやる方がいらっしゃればお願いしたい。分担表の案について抜けている点、やりたい分担についてご意見をいただきたい。

(雨宮委員)

イラストについて全体的にデザイン、例えば表紙などはどのくらいのものを作るのか。できれば全体で統一した方が良いと思う。

ページによってトーンが違ったり、さしずめ報告書全体として表紙からイメージを統一した方が、クオリティが上がるというか、説得力がある。そこまでできるかという問題はあるものの統一したほうが良いが、そこまでやるとプロの仕事になってしまうかもしれない。

(秦野委員長)

イラストについては統一しようと思うと既存のものを捨ってくるのが一番簡単だが、何ページの挿絵はこの方たちにご協力いただきましたというエクスキューズを入れた上であれば、トーンの違うイラストが入っても、全体としてページの構成とか表示、体裁が揃っていれば良いと私は考えている。前回の定例会の時にも「ちょっと描いてもらえるのであれば、こういう報告書も良いよね」というご意見もあったのでここは次の編集段階で、検討しないといけない。

作業分担については現時点ではこんな項目で、自分が引き受けるならどの分担が良いとか、そこを話し合いたいが、各委員できそうな分担はあるか。

(雨宮委員)

コラムについてどのような視点でという整理はまだできていないが、しっかり書かせて頂きます。

(秦野委員長)

雨宮委員はこれまでの委員会の流れ、会議の流れもご存じなので、ご自身の立場から書いていただければと思っています。3本の柱を考えていただいて、若者がもっと力を発揮できるように、発揮のしかたは個性が色々あるので、それを大人がどのようにして支えたら、という視点で書いていただくのはいかがでしょうか。

(雨宮委員)

子ども、孤立してる人が多い地域課題の中で、公民館がみんなが集う接点になればと思い東林公民館など使わせて頂いていましたが、貸館利用以上のことができない。場所が空いているからそこを活用するというところまでしか出来ていなくて、継続的に公民館職員の方と一緒に企画を練るとかできないだろうかと考えている。

若者支援をやっている立場から「公民館職員のみなさん、もっと一緒に何かやりませんか」そのような視点で書きたい。

(秦野委員長)

本文の若者関連のところも、書けそうですか。こんな流れがあれば若者はもっと活躍できるという事とか。

(雨宮委員)

逆に「公民館のみなさんへの若者からの要望」のようになってしまうかもしれませんが、「もっとこうやって使いたい」で書きます。

(秦野委員長)

それでは本文の若者関連については雨宮委員にお願いします。

水谷委員はいかがでしょうか。

(水谷委員)

なかなか出来そうな分担が無いが、マップに関してであればできると思う。

(秦野委員長)

マップですが、委員皆さんの意見でアピールポイントを入れるとなっていました。それをどのように拾うと良いか、皆さんからアイデアをいただきたいところで、本当は社会教育委員が良さを拾って書けると良いが難しいですか。

(水谷委員)

公民館資料から拾ってみようと思う。特徴を選んでまずは案を作ってみる。

(秦野委員長)

公民館長会議等で、公民館としては絶対にこの事業を載せたいという意見が出そうでしょうか。

(大久保委員)

これは公民館側から訴えたいアピールポイントですか、それとも社会教育委員会として見たアピールポイントですか。

(秦野委員長)

そこで悩んでいて、公民館がアピールポイントを出したときに、あちらを立てればこちらが立たずという訳にはいかず、こちらの専門部に顔向けしづらいという状況が起きてしまい、館長たちが頭を抱えてしまうのではないかと悩んでいる。

(事務局)

先ほど東林コンサートの話がありましたが、特徴的であったため教育研究発表では発表させてもらいましたが、東林公民館のアピールポイントがストレートに東林コンサートになるかということ、他にも良い取組があるので非常に難しい。

(秦野委員長)

社会教育委員が事例として拾う分には構わないけれども、館長が事例を出してしまっただけでは色々と言われてしまうのではないかと、館長のお立場が非常に苦しくなると

思うので、社会教育委員の視点で書くという事でよいでしょうか。

(全委員)

反対意見なし。

(秦野委員長)

奈良田委員にはコラムをお願いしたい。

(奈良田委員)

学校現場からという立場でお引き受けします。

(秦野委員長)

そのほかに学校と地域との連携について項目立てが必要かどうか、学校側の視点から見ていかがでしょうか。

(奈良田委員)

学校として地域との連携は大切で、その中でも公民館は大変お世話になっているので、そのような項目があると良いと思う。

(秦野委員長)

奈良田委員には学校・地域のコラムをお願いします。大久保委員はいかがですか。

(大久保委員)

アンケート、ヒアリングから意見を抽出するのであればできると思う。事例だと自分の好みで選んでしまう恐れもあるので事例は別の方をお願いしたい。

(秦野委員長)

アンケート、ヒアリングからの意見抽出は大久保委員をお願いします。

(秦野委員長)

今日分担が決まらないところについては、社会教育委員全員で、小委員会の委員だけではとても手が回らないので、他の委員にも分担をお願いするがそれでよいでしょうか。

(水谷委員)

一番大事なのは期日で、いつまでに仕上げるのか。

(秦野委員)

次の定例会には完成形ではなくても良いので「こんな感じ」という、途中経過でも現状にもう少し肉付けしたものを出したい。

(奈良田委員)

次の定例会というと9月か。

(生涯学習課長)

現在9月の下旬から10月上旬くらいの間で調整している。

(秦野委員長)

およそ1ヶ月である程度完成に近いもの、どうでしょうというものを定例会に出したい。

(雨宮委員)

文字数とかある程度決めてはどうか、コラムを書いたものの委員によって全然文字数が違ふということも考えられる。

(秦野委員長)

そういう細かいことを決めていこうかと思っていて、例えば公民館マップの場合、水谷委員は公民館のアピールポイントについてどのくらいの文字数を考えているのか、マップの中に入れると見にくくなってしまうので、公民館の場所は番号にして、横に番号に対応したアピールポイントを書くとすると、どのくらいの文字数をお考えでしょうか、100字程度とか。

(水谷委員)

100字は多いと思う。

(大久保委員)

キャッチコピー的な文面、一言であまり長文にならないようにしたい。

(水谷委員)

キャッチコピーを2つか3つくらいで。

(秦野委員長)

そうすると30字程度。

(水谷委員)

それでも全公民館となると相当な量。

(秦野委員長)

マップのアピールポイントは多くても30字程度にして、コラムについては500字を目安に。アンケートからの意見抽出については、ウェブアンケートから興味深い意見を抽出する作業と、アンケートの数字を入れてない箇所がたくさんあるので、アンケートの数字を見せた方が説得力ある項目を選ぶ作業を、皆さんにお願いします。ヒアリングの意見抽出について、大久保委員に主担当をお願いしますが、皆さんにもヒアリングから意見を拾う作業をお願いします。締め切りについては事務局と調整します。関心ある文章については雨宮委員をお願いしていますが、他の部分で是非書きたいという委員がいましたら随時手を上げていただくということによいでしょうか。

(全委員)

反対意見なし

(秦野委員長)

事例については事例集として後ろに付けるのか、本編の中に入れるのか、皆さんと相談しながら整理していく必要があると思うので、それについては全員に投げかけをします。全体の監修、文章のトーンは書き手によって違うと思うので、全体の監修については古矢議長と私で整理したものを定例会等に出して、皆さんからご意

見をいただき、書き手の意図を確認しつつ進むということによいでしょうか。

(全委員)

反対意見なし

(秦野委員長)

イラストについても先ほど雨宮委員が心配されていたように、トーンがばらばらで良いのか、それとも色々な方に参加していただいて、内容に合ったイラストを書いて下さる方がいたら、その方に協力してもらおうのが良いか、雨宮委員の所に来ている子たちの中で、文章に合わせた絵を描けそうな人に心当りはありますか。

(雨宮委員)

私の現場には絵が得意な子はいない。

(秦野委員長)

概要版をまとめるのが11月頃になるかと思うので是非お願いしたい。

(雨宮委員)

私が担当している現場以外の職員に絵を描くのが得意な子がいらないか声をかけてみます。

(秦野委員長)

難しい点は、好きな絵を描いてもらうのではないところでしょうか。

(雨宮委員)

オーダーに対して描くというところが難しい。

(秦野委員長)

描いてもらって載せないというのは非常に失礼、やってはいけない。

(雨宮委員)

そこが難しい。

(秦野委員長)

心当たりある方がいるかもしれないので、他の委員にも投げかけします。次に今までの定例会の中で多くの委員が「もっと」についてけっこう発言されていて、一人ひとり自分が思う「もっと」を書いたホワイトボードを持った写真を載せたらという案について、試しにやってみましたが「やめよう」、「面白いからやろう」などみなさんの率直なご意見をお願いします。因みに古矢議長は「写真は嫌だ、イラストならいい」とおっしゃっていました。

(奈良田委員)

アンケート、ヒアリングから意見抽出をして、色々吹き出しがあって、「だからもっとこういう公民館にしたい」それがあるので無くてもいいと思う。

(大久保委員)

私は載りたくない、載せたくない。

( 秦野委員長 )

二人とも立場的に難しいかも知れない。それではこの案は削るとして、委員の名前の一覧は載せると思いますが、名前の一覧だけでよいでしょうか。

( 大久保委員 )

名前とコメント、短文を載せる程度であれば良いと思う。編集後記ではないが、各委員の想いそれぞれがありますでしょう。

( 秦野委員長 )

名前と一言「この報告書を活用してくれると嬉しいです」という感じでしょうか。

( 大久保委員 )

何か入れるとしたらそういうのが良い。

( 秦野委員長 )

「もっと」ではなく、「この報告書を活用してもらえると嬉しいです」のような一言にするということ定例会で提案します。

次にウェブアンケートについて面白い意見、視点についてご意見を頂きたい。

( 水谷委員 )

集計結果で「参加意欲がわきますか」という設問があるが、参加していただくためには参加意欲がわくようにしないといけないが、参加者の声というのが意外と大きい。例えばアマゾンでものを買うときには、評価者のレビューのポイントの多さとか、レビュー次第で「これだったら買おうか」という気になるので、多分こういうのが聞ければ、良いレビューがあれば参加しようと思う。参加してもらわないことには始まらないので、どうすれば意欲がわくのかということ。

( 秦野委員長 )

大久保委員はいかがですか。

( 大久保委員 )

情報の入手手段、どのような開催のあり方だったら参加が多く望めるのかということ、公民館の立場で言っていますが。参加、利用形態のところ LINE が出ているが、LINE は若い人は多い。

( 秦野委員長 )

雨宮委員はいかがでしょう。

( 雨宮委員 )

自分自身公民館は割と遠い存在で、児童館には行っていたがそこまで、その後は学校の部活があって他にいく必要もなかった。公民館に通い続けるような文化自体が無かった。23区に住んでいたこともあって、公民館自体の間まで知らなかったの、遠い存在というイメージがある。だから関わる若者たちを見ている、公民館は自分たちが行くところではないと認識しているように感じる。お爺ちゃま、お婆ちゃま達のサークル活動がメインで、自分たちの興味関心に触れるようなもの

は無くて「おもしろいことやっていなさそう」と感じている。そのような言葉が吹き出しの中で「実はこういうこともやってるんだよ」という、具体的な事例が並ぶと、「ああそうか」となり、自分と同じ世代も「楽しめることあるんだな」とつながると思う。

(秦野委員長)

今日いただいた意見はすぐに素案に入れて定例会で提案します。今日のご意見や分担を基にして、私と古矢議長と事務局で整理をした後、小委員会委員に確認いただき、全委員の事前確認の上で定例会を開催したい。投げかけができるのであれば、素案と一緒に「アンケートからこの項目載せては」など、意見を事前に事務局に送る、分担したい作業を考えておく、あるいは今すぐでも文章を書ける方は書いたものを事務局に送る。そのようにして次回の定例会では今日の意見を踏まえ肉付けしたものを示したい。素案を見る時間も少なかったので、会議終了後に何か思いついたら事務局に連絡いただいて、少しでも皆さんの意見を反映させたものにしたい。そのようなまとめ方と構成案とし、今後編集していくということで定例会に提案したいと思うが、それでよいでしょうか。

(大久保委員)

先ほどの分担については次の定例会までに仕上げるのか。

(生涯学習課長)

事務局で期限を設定し、ご案内をお送りします。短い期間で作業していただくことになってしまい、大変恐縮ですがよろしくお願いします。

秦野委員長のあいさつにより、会議を終了した。

以上

## 社会教育委員会議小委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	奈良田 久	相模原市立小学校長会		出席
2	大久保 宗俊	相模原市公民館連絡協議会会長	副委員長	出席
3	若林 由美	一般社団法人星と虹色な子どもたち 相模原支部役員		欠席
4	秦野 玲子	RE Learning代表	委員長	出席
5	古矢 鉄矢	北里研究所参与		欠席
6	水谷 英正	公募		出席
7	雨宮 健一郎	特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク 相模原市子ども・若者自立サポート 事業総括		出席